

総合型選抜入試の目的と特徴

経済学部の総合型選抜入試は、経済学部のアドミッション・ポリシー(p.01参照)に真に適合する学生を受け入れるために行われる入試です。経済学部の授業を理解する上で重要な、国語、数学、地理歴史・公民分野を中心とする基礎学力、粘り強い論理的思考力、そして、経済・社会問題への関心や地域社会・国際社会に貢献する志を重視する試験です。同時に、主体的に学ぶ姿勢や将来のキャリアに対する意欲なども問われます。出願時に、課題探究(プレゼン)型、課題探究(レポート)型の2つから選択できます。

教育目的と求める人物像

■教育目的

経済学部は、グローバル化や情報化などによって、ますます複雑化している実社会において、幅広い視野と鋭い分析・判断能力を持ったビジネスパーソンとして活躍できる人材を育成することを目的としています。

■求める人物像

経済学部が求める基礎学力や論理的思考力を高校時代に身につけている下記のような人物を求めます。

- 1 経済学と法律学を両方勉強して、公務員や実践力のあるビジネスパーソンになりたい人
- 2 フィールドワークで地域経済の現場を知ったうえで、その再生や発展に役立つビジネス、金融、政策のあり方を学びたい人
- 3 日本を飛び出して、海外でも活躍できるような、自立した、実力のあるビジネスパーソンになりたい人
- 4 経済学、統計学の知識を身につけて、ビジネス・経済データ分析ができるようになりたい人

選考方法および課題、選考における評価基準

課題探究(プレゼン)型

選考方法

- ①プレゼンと質疑応答
  - ・プレゼンを行う時間：7分以内(5分未満で終了した場合は減点対象)
  - ・発表方法：プレゼン用ソフトウェアまたはフリップボード(いずれかを選択)
  - ※試験監督者用の資料として、プレゼンで提示する資料を必ず3部持参し、試験当日に試験監督者に提出してください。
  - ※個人の機器を持ち込む場合は、試験当日に別室にて接続テストを行うため、試験中に監督者による機器接続等の補助は原則としてできません。機器の不具合等により、機器の利用から紙資料によるプレゼンへ方法が変更された場合でも、評価に影響が出ることはありません。
  - ※資料を読み上げるのではなく、自分の言葉で説明できるよう準備してきてください。発表終了後に質疑応答を行います。
  - ※準備方法や注意事項については、阪南大学入試サイト「総合型選抜入試 Web サイト(経済学部ページ)」を必ず確認してください。
- ②「学修計画書」に基づく個人面接
  - ・出願時に提出された「学修計画書」に関する質疑応答
  - ※試験時間は「プレゼンと質疑応答」と「個人面接」をあわせて20分程度です。

プレゼンテーマ

①テーマ(以下の2つの課題A・Bのいずれかを選択してください。)

- 課題A「地域テーマ」(a~eから一つ選択)
- a.「人口問題」 b.「観光振興」 c.「産業振興」 d.「環境問題」 e.「防災対応」
- ※日本の地域(市区町村単位)から一つ(例えばあなたが暮らす市区町村など)を選び、その地域についてa.~e.のいずれかの「テーマ」に基づいて調べ、あなた自身の経験や関わりを踏まえて考察し、その結果を取りまとめてください。

- 課題B「日本・国際社会テーマ」(a~dから一つ選択)
- a.「インバウンド」 b.「外国人労働」 c.「物価高騰」 d.「資源・環境」
- ※日本もしくは国際社会についてa.~d.のいずれかの「テーマ」に基づいて調べ、あなた自身の経験や関わりを踏まえて考察し、その結果を取りまとめてください。

- ②プレゼンでは、次の1)~4)の4点について、この順番で発表してください。
- 1) 選択した地域や国の簡単な紹介と特徴について
  - 2) 選択した「テーマ」に関するその地域や国の現状について
  - 3) 地域や国の現状から見えてくる課題について
  - 4) 課題を解決していくために必要だと思うことについて

評価基準

項目	配点	備考
プレゼンと質疑応答	70%	表現力、論理的思考力、主体的に学ぶ姿勢、経済・社会問題に対する姿勢、独自性など
「学修計画書」に基づく個人面接	30%	志望動機、学習意欲、積極性、計画性など

課題探究(レポート)型

選考方法

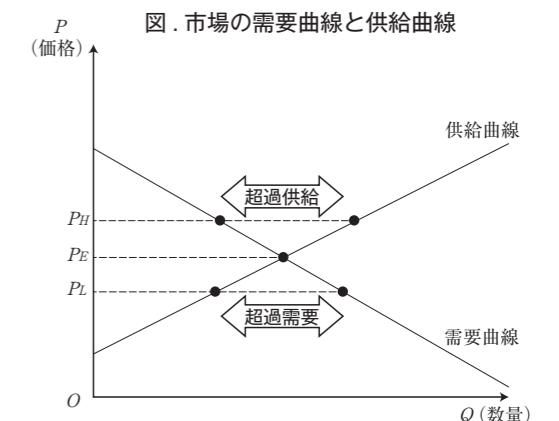
- ① 提出課題と口頭試問：出願時に課題レポートを提出してもらいます。試験当日、提出してもらった課題内容の理解度を確認するための口頭試問を行います。課題内容について自分の言葉で説明できるよう準備してきてください。特に自分の考えを述べる際には、その理由や根拠を明確に示してください。
- ② 「学修計画書」に基づく個人面接：試験当日、「学修計画書」に基づいて質疑応答を行います。  
※試験時間は「口頭試問」と「個人面接」をあわせて20分程度です。

課題レポートテーマ

- 以下の2つの課題①②のいずれかを選択してください。
- 課題① 日本の人口問題について、以下の1)~2)に従って、1,000字程度で記述してください。
- 1) 人口問題に関するキーワードa~eから、最も関心のあるもの一つを選んでください。  
a.「少子高齢化」 b.「女性の出産と労働」 c.「社会保障問題」 d.「外国人労働」 e.「地方の過疎化」
  - 2) 選択したキーワードに基づいて、日本の人口問題がどのような問題であるのかを、I)~IV)に沿って、説明してください。  
I) そのキーワードを選択した理由を説明してください。  
II) そのキーワードの意味や内容を説明してください。  
III) そのキーワードに基づいて、日本が抱える問題を説明してください。  
IV) III)で説明した問題の解決に向けて、あなたが考える取り組むべきことを説明してください。  
なお、I)~IV)の文章やそれらの番号をレポート中に書き写す必要はありません。

- 課題② あなたが見聞きした経済のニュースを参考に、価格の上昇した商品を1つ選び、その価格変化の理由について、以下の1)~5)に従って600字程度で記述してください。
- なお、1)~5)の文章やそれらの番号をレポート中に書き写す必要はありません。

- 1) 価格の上昇した商品を1つ選んでください。
- 2) 図で表されている市場の需要曲線、供給曲線とは何を表しているかをそれぞれ説明してください。また、需要曲線が右下がり、供給曲線が右上がりとなる理由についても説明してください。
- 3) 市場は価格を均衡価格に導こうとするが、均衡価格において需要と供給はどのような関係になるかを説明してください。また、図において価格が $P_H$ のとき超過需要が発生しているが、超過需要が発生している場合に価格はどのように変化するかを説明してください。
- 4) あなたが選んだ商品について、その商品の需要曲線、あるいは供給曲線(またはその両方)を動かすような要因があったかどうか、あったとすればそれ(それら)は具体的にどのような要因であったか、説明してください。
- 5) あなたが選んだ商品について、その商品の需要曲線、あるいは供給曲線(またはその両方)がどのように動くのかと、それによってなぜ価格が上昇するのかについて説明してください。



評価基準

項目	配点	備考
提出課題と口頭試問	70%	論理的思考力、主体的に学ぶ姿勢、表現力など
「学修計画書」に基づく個人面接	30%	志望動機、学習意欲、積極性、計画性など